



花さき山



タイトル文字: 滝平二郎



育児コンシェルジュ

明野図書館では毎週、
火曜・木曜 10:00~14:30

上記の時間、お母さんやお父さんが図書館でゆっくり本を選べるように、育児コンシェルジュがサポートします！簡単な子育て相談もできますよ♪

ブックスタートクラブ

毎週水曜日は視聴覚室開放 day♪

☆幼児向けおはなし会☆

9月 12日、26日 ⇒10:00~

☆9月のおはなし会☆

9月1日(土)と16日(日)
11:00~11:30

明野図書館 児童室でお待ちしています！

【水防災意識強化週間におけるパネル展】

日時:9月5日(水)~9月9日(日)
9:00~

場所:明野図書館 視聴覚室

主催:下館河川事務所



携帯図書館講座

日時:9月 21日(金)
14:00~15:00

場所:明野図書館 視聴覚室



音読会

場所:明野図書館 視聴覚室

日時:9月4日(火)

11:00~12:00

気軽に発声練習してみませんか?

大人向けの音読会です。

もちろんお子さんも参加できますよ☆

9月のテーマは、『谷川 俊太郎』!



ブックカバーをつくろうよ!

日時:10月13日(土) 10:30~12:00

場所:明野図書館 視聴覚室

対象:小学生以上(小学生は保護者同伴)

定員:10名(先着順)

申込:9月15日受付開始

(カウンターでのみ受付)

持ち物:ブックカバーにしたい布



9月は大人向け映画会

場所:明野図書館 視聴覚室

日時:9月22日(土) 10:00~

内容:「種まく旅人 夢のつぎ木」

(上映時間:105分)

お申込不要です。無料でご覧いただけます。

《9月の特集コーナー》

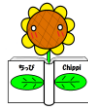
場所:明野図書館 カウンター前

「特集コーナー」

テーマ:「中・高生のおすすめ本」

チェックを忘れずに!





台湾－美麗島－旅情

根岸 彰

3月から4月にかけて、花粉を避けるためもあり、台湾を2週間ほど歩いたが、今回も気ままな一人旅だった。大まかなルートだけ立て、現地の状況を見て臨機応変に対応する。各地の観光案内所は充実していて、日本語はほぼ通じるし、宿の予約も取ってくれる。よく見かけるツアーの旅はただの移動で旅になってない。私はリュック姿でほぼ一日中歩き回る。旅は台北からだったがまず高雄まで台湾高鉄に乗車する。旗津半島にフェリーで渡り、美しい海浜公園をサイクリングした。その夕べ、西子湾を望む赤れんが造りの優雅な旧英国領事官邸に入った。二階のテラスで、春の花咲く庭の木々を眼下にしながらの香り高いウーロンティーが忘れられない。翌日は左營蓮池を巡り、龍虎塔に登ってから、市内を流れる愛河沿いを歩いた。三鳳宮などの見所を回り、六合夜市で食事をした。台南では赤坂楼、孔子廟を見てから、安平古堡に向かった。この古い城塞の傍らの鮮やかな紫の花をつけた高木の林もしみじみとした旅情を誘った。翌日嘉義から北港、新港にバスで向かう。大がかりな媽祖廟がどちらにもあり、豪華な祭壇はあふれんばかりの蘭などの花々で飾られている。北港では沢山の爆竹の炸裂とその煙霧の中で行う印象的な宗教儀式に偶然立ち会えた。この日の夕べは斗六の円環広場を見下ろす宿に入った。斗六と西螺の街には独特な屋根の形の古い洋風建築がずらりと立ち並んでいて壮観である。さらに鹿港に向かう。この台湾でも最古の一つの港町の風情あふれる石畳の小径を歩いて名所巡りをした。ここから日月潭までバスを乗り継ぐ。慈恩塔の最上階からは周囲の高峰と日潭、月潭の清澄な湖面が広がって絶景だった。玄奘寺(ここに玄奘の仏舎利がある)、九族文化村、文武廟も訪ねる。翌朝宿の対岸の山からの日の出を見て、湖畔沿いのサイクリングをした。旅の最後は台北に戻り、郊外の新北投に泊まる。「非情城市」が撮られた哀愁漂う九份を翌日の午後六時頃歩いた。この時間は赤いランタンに彩られた三階建の茶屋の見物客で押しつぶされそうだった。八時頃には歩きやすくなった。翌朝の静かな古い街並みは絵になっていた。台北では士林官邸と市立動物園が穴場である。どちらもみずみずしい広大な庭園と森がある。パンダも簡単に見られる。南国の花々の大きな花市が週末に市内に立つ。台湾の旅でうれしいのは各地にとってもおいしい食べ物があることと治安もよいことである。とりわけ日本人には優しくて何度も感激した。世界が羨むほど情の濃い日台関係のためである。台南に住んでいるある日本人も、台湾の人情と食を絶賛していた。この旅のために英語の『ラフ・ガイド』(rough guide)を読んでいったが、『地球の歩き方』など足下にも及ばない詳細な情報が得られる。海外の一人旅は様々な高いハードルがあるが、旅情あふれて身も心も蘇る旅に是非出かけてください。

(ねぎし あきら／旅行書探訪家)